

空知管内

北海道美唄養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒072-0811 美唄市東7条南3丁目1-1
- 問 合 せ 先 TEL 0126-62-6511
FAX 0126-62-6512
E-mail bibaiyugo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.bibaiyugo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「児童生徒の主体的に生きる力を伸ばし
地域社会の中で豊かに生活する人を育てる」
- 教 育 信 条
「あくまでも優しく あくまでも厳しく」
- 概 要



本校は昭和52年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。高等部は、平成10年に設置され、知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、交流及び共同学習や地域への貢献活動など地域の人材や資源を生かした学習活動を通して、卒業後の自立と社会参加を目指しています。生徒一人一人が培ってきた力を土台に、現在の学校生活を豊かにするとともに、将来の社会参加、自立に必要な力を養うための教育を行っています。寄宿舎では、一人一人の発達の段階に応じて、生活スキルの向上を図るほか、日常生活を豊かに過ごすための様々な余暇活動に取り組んでいます。

■特色ある教育活動

高等部教育目標「地域社会とのつながりを意識し、生活する力を身に付ける」

- (1) 社会生活に必要な基本的生活習慣を身に付ける
- (2) 身体の状態の改善・維持・増進を図る
- (3) 自ら考え、主体的に行動する力を身に付ける
- (4) 意欲的に社会参加する力を身に付ける
- (5) 心理的な安定を図り、円滑にコミュニケーションをとれる力を身に付ける

【 進路の学習 】

総合的な探究の時間を中心に、卒業後の生活を見据えた進路学習に計画的に取り組んでいます。「働くことの理解」「挨拶、言葉遣い、マナー」「社会見学（事業所・施設見学）」「現場実習（含事前・事後学習）」等の指導内容を配置し、自己理解を促し卒業後の生活について考える学習に取り組みます。同時期に、終日作業学習を行う「集中作業日」（3日間）を設けているほか、学校生活全般を通して、様々な人との関わりの中で生活していくために必要な力を身に付ける指導を行っています。

【 地域の清掃活動 】

「生徒自身が地域の人々のために役に立てることはないだろうか」と考え、年に数回、美唄市役所市民部生活環境課と連携し、学校周辺地域の環境整備として清掃活動に取り組んできました。地域の方からの「お疲れ様」「ありがとう」の感謝の声は、生徒たちの励みとなっています。

【 交流及び共同学習 】

同年代の生徒と協働した活動を通して生活経験を広げ、社会性や豊かな人間性を育てることを目的として、美唄市にある高等学校2校と交流及び共同学習に取り組んでいます。



作業学習



現場実習：事務所



校外学習



体育：20分間走



高等部祭：ビンゴ大会



生活単元学習：選挙

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語・数学	保健体育	国語・数学	保健体育	保健体育
3	作業学習	生活単元 学習	作業学習	作業学習	生活単元 学習
4					
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健体育	音楽	日常生活の 指導	生活単元 学習	L H R
7					
8	日常生活の 指導	日常生活の 指導		日常生活の 指導	日常生活の 指導

【重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動	保健体育	自立活動	保健体育	保健体育
3		生活単元 学習		自立活動	生活単元 学習
4					
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健体育	音楽	日常生活の 指導	生活単元 学習	L H R
7					
8	日常生活の 指導	日常生活の 指導		日常生活の 指導	日常生活の 指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8:50～9:00（月～金）

* 下校時間 14:50（月・火・木・金）／13:20（水）

■教育課程の特徴

生徒一人一人の教育的ニーズや障がいの特性、発達の段階等を考慮し、グループ別学習を行うとともに、本校小・中学部の教育課程との一貫性を踏まえた教育課程を編成しています。

□ 作業学習

作業学習は4つの作業班を設定しています。

- ・環境班（清掃活動、農作業等）
- ・陶芸班（皿などの製作、販売に向けた取組等）
- ・リサイクル班（空き缶・ペットボトル回収、分別等）
- ・生活総合班（クラフト、木工作業等）

3年間を通して一つの作業班に所属して学習するのではなく、年度ごとに意向調査を行い、作業班の変更を可能としています。生徒が様々な作業を通して、自身の作業適性や特性（よさ）を知るなど、自己を理解する機会としています。

□ 現場実習

生徒、保護者の願いを踏まえ、卒業後の生活を見据えた現場実習を行っています。各事業所等での作業や余暇的な活動を経験し、進路を選択するための学習を計画的に進めます。

- ・第1学年：学校近隣の事業所で行う実習（3日間）
- ・第2学年：自宅から通勤して行う実習（5日間）
- ・第3学年：卒業後の福祉的就労先で行う実習（10日間）

※必要に応じて、追加の実習を行います。

□ 生活単元学習

生活年齢にふさわしい単元設定を意識し、ねらいに合わせて学習集団を学部全体、学年、学級などで構成し学習活動を進めています。

□ 自立活動の指導

生徒一人一人の学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

□ 福祉的就労～19名（就労継続支援B型～8名/自立訓練～1名

/生活介護～9名/共同生活援護（GH）1名）

学校Webページ

